

平成18年度アマノリ養殖概況

横手孝英

漁期前から入手不足が心配されていた九州委託採苗網については、今漁期は確保することができたものの10月中旬から11月上旬にかけて水温降下が鈍く、栄養塩もこの時期としては異例の低さだった。その後も高めの水温で推移したことなどから、11月下旬から始まった本養殖でも生長が悪く、1回目の共販入札会が中止となる厳しいスタートとなった。12月以降は海況の好転とともに順調に生産が進ん

だ。しかしながら、2月に入り少ない降水量に加え、特に那賀川河口周辺漁場では珪藻類の増殖が顕著だったことなどから、色落ち被害が発生した。

図1に平成18年度、17年度の月別徳島県漁連共販枚数を示した。図2に年度別共販枚数と平均単価の推移を示した。

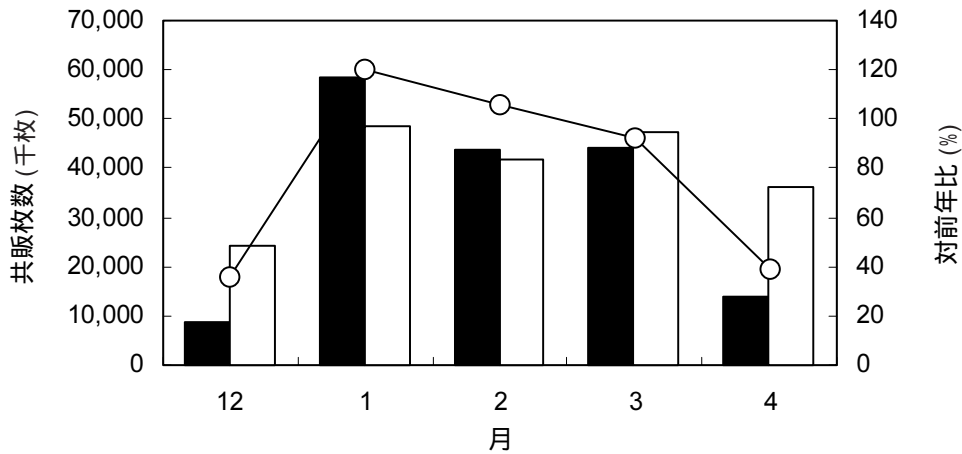


図1 月別共販枚数の推移。 ，平成18年度； ，平成17年度； ，対前年比

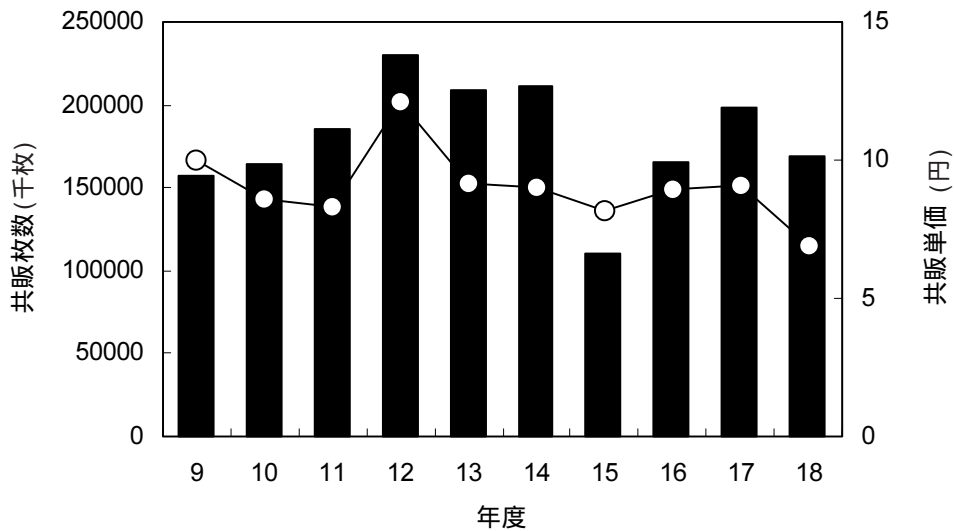


図2 年度別共販枚数と平均単価の推移。 ，共販枚数； ，共販単価